

科目名	歌曲実習Ⅱ	形態	実習	開講期	秋学期
担当教員	松下 雅人	単位	1	年次	3

＝授業科目の目標＝

ドイツロマン派中期から後期にかけての作品を教材として取り上げる。作品の理解をさらに深め、朗読に重点をおき詩的表現法を修得する。また、楽曲における多彩な音色の変化を楽譜からくみとり、演奏に反映できるようにする。

＝履修の条件と学習の方法＝

譜読みを各自で事前に完了していること。教材となる作品の背景を調べてくる。歌曲基礎Ⅰ・Ⅱを履修している。または履修予定のこと。

＝授業内容＝

- 1 回ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2 回作品解釈シューマンについて
- 3 回逐語訳を基に、それぞれが意識をこころみる。
- 4 回対訳を発表
- 5 回 CD の聞き比べ
- 6 回演奏
- 7 回暗譜演奏
- 8 回ブラームスについての作品分析と解釈
- 9 回 R. シュトラウスについての作品分析と解釈
- 10 回 H. ヴォルフについての作品分析と解釈
- 11 回ロマン派後期作曲家の中から選曲
- 12 回プログラムノート及び対訳を完成
- 13 回演奏
- 14 回暗譜演奏
- 15 回試演会

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況と授業に対する研究姿勢。試演会における個々の演奏の上達度。正確なドイツ語のディクショント詩的表理ができているかに重点をおく。

＝テキスト（必携）＝

特になし

